

呉市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について（報告）

1 総合戦略改定の趣旨

特色ある地域資源を活かした新たな魅力・価値の創造による雇用創出や子育て・子育てしやすい環境づくり、魅力的な住生活環境の創出などを通じて若年層の市内定着や出生数の増加を図り、人口減少を抑制することにより、将来にわたり豊かで活力あふれるまちづくりを推進するために平成28年3月に策定した「呉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」といいます。）について、令和元年度当初予算を踏まえ改定しました。

2 令和元年度当初予算を反映したローリング

(1) 追加・拡充した事業（新規10事業、拡充9事業）

①働きやすさの向上（しごとづくり）

産業や消費を支える若い世代の定着等による更なる活性化を図るため、呉の特性（呉らしさ）を活かした雇用創出に積極的に取り組んでいきます。

・（新）中小企業人材育成事業	100万円
・（新）新たな観光推進体制の構築	663万円
・（新）「待っとるよ 呉」観光キャンペーン	494万円
・（新）「（仮称）すずさんに逢える丘」整備事業	1,296万円
・（新）大和ミュージアムの魅力向上事業	1,861万円
・（新）入船山記念館の魅力向上事業	300万円
・（新）呉港へのクルーズ客船誘致	646万円
・（新）リノベーションまちづくり事業	1,045万円
・（拡）呉駅周辺地域総合開発の推進	2,500万円
・（拡）産地育成・地産地消の推進	851万円
・（拡）呉製品の販路拡大支援	552万円
・（拡）起業家支援事業	524万円
・（拡）障害者就労支援体制の充実	100万円

②育てやすさの向上（ひとづくり）

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、子どもと子育て世代でにぎわうまちを創り出すため、子育て・子育てしやすい環境づくりに積極的に取り組んでいきます。

・（新）子どもの居場所づくり	245万円
・（新）子育て支援アプリの導入	65万円
・（拡）放課後児童会の充実	4,225万円
・（拡）特色のある呉の教育の推進	1,438万円

③暮らしやすさの向上（まちづくり）

多くの市民に呉市を定住の地として選択してもらおうとともに、呉市への移住を促進し、多世代がにぎやかに暮らせるまちを創り出すため、魅力的な住生活環境の創出に積極的に取り組んでいきます。

・（拡）地域包括ケアシステムの推進	3億5,049万円
・（拡）定住サポートセンターの充実	463万円

(2) ローリング後の事業数・事業費 (H27～R 元)

- ・ローリングの結果，計画期間中の概算事業費全体額は約 154 億円
- ・平成 30 年度末現在の執行額は約 126 億円

基本目標	事業数					事業費(億円)		進捗状況(億円)		
	追加事業	既存事業				合計	H27～R元 (①)	内R元年度	内H27～30年度	
		拡充	継続	完了	小計				執行額 (②)	全体進捗率 (②/①)
働きやすさの向上	8	5	26	2	33	41	58.2	10.0	48.2	82.8%
育てやすさの向上	2	2	12	3	17	19	43.4	7.3	36.1	83.2%
暮らしやすさの向上	0	2	20	2	24	24	52.1	10.7	41.4	79.4%
合計	10	9	58	7	74	84	153.7	28.0	125.7	81.8%

3 重要業績評価指標 (KPI) の修正

【基本目標 1】働きやすさの向上 (しごとづくり) ア 産業の競争力強化

項目	修正前	修正後	修正理由
(イ) ものづくり技術の高度化促進 (H27～R 元)			
・産業団地への新たな立地企業数 (累計)	10 社	18 社	目標を達成したため。H27～H30 実績：15 社
(ウ) サービス産業の魅力向上 (H27～R 元)			
・新規出店件数・島しょ部における新サービス実施件数 (累計)	80 件	83 件	目標を達成したため。H27～H30 実績：80 件

【基本目標 1】働きやすさの向上 (しごとづくり) イ 人材の発掘・育成

項目	修正前	修正後	修正理由
(イ) ものづくり人材の育成 (H27～R 元)			
・創業支援事業計画・実践型地域雇用創造事業に基づく新規雇用者数・創業者数 (累計)	735 人	855 人	目標を達成したため。H27～H29 実績：805 人

【基本目標 2】育てやすさの向上 (ひとづくり) ア 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援

項目	修正前	修正後	修正理由
(ア) 結婚の応援 (H27～R 元)			
・結婚支援事業参加者のカップル成立数 (累計)	97 組	111 組	目標を達成したため。H27～H30 実績：99 組

【基本目標 3】暮らしやすさの向上 (まちづくり) イ 定住・移住促進

項目	修正前	修正後	修正理由
(イ) 空き家の利活用促進 (H27～R 元)			
・空き家バンク登録物件の成約件数	100 件	110 件	後期基本計画の上方修正に合わせて修正

4 目標達成状況等

＜評価基準＞

評価	KPI指標の平成30年度末までの達成率
◎	全ての項目で80%を超えている
○	一つ以上の項目で80%を超えている
△	80%を超える項目がない
—	達成率が算出できないもの

※総合戦略の計画期間5年のうち4年終了時点のため、達成目標は80%を基準とする。

【基本目標1】働きやすさの向上(しごとづくり)

(1) 「呉らしさ」を活かした雇用創出の方向性

目標									
指標	目標	単位	H27	H28	H29	H30	累計	達成率	
20～30歳代の「仕事」理由の転出超過数	3分の2改善 (H25：△265→R元：△90)	人	3分の1 改善 △153	4分の1 改善 △203	△591	△334	—	—	
評価	現状								
—	<ul style="list-style-type: none"> 転出入者へのアンケート調査（任意）によると、20～30歳代の「仕事」理由の転入者は、1,600人と昨年1,178人に比べて422人と大幅に増加している。また、「仕事」理由の転出者は、1,934人と昨年1,769人に比べて165人増加している。 20～30歳代全体の転入者3,210人（前年比：+9人）、転出者4,159人（前年比：△23人）となっており、転出超過数は、前年度から大きな変化はない。 前年度と比べ、他都市からの転入者は、東広島市（前年度比：+27人）については増加し、広島市（前年度比：△23人）については減少している。また、他都市への転出者は、東京都（前年度比：+59人）、広島市（前年度比：+38人）については増加し、長崎県（前年度比：△217人）、神奈川県（前年度比：△71人）については減少している。 平成27年度からの推移では、近隣市との転出入については、毎年度、広島市へ約370人、東広島市へ約110人の転出超過が続いている。また、江田島市から約210人の転入超過が続いている。 								
令和元年度以降の方向性									
<ul style="list-style-type: none"> 若者や女性など誰もがチャレンジできるまちを目指し、新たに起業したい者等を支援していく。あわせて、企業立地の推進等による雇用の創出を図る。 									

(2) 具体的方策

ア 産業の競争力強化

(ア) 農水産品のブランド力向上

主な事業									
<ul style="list-style-type: none"> 農水産品のブランド化推進（広カンラン、オニオコゼ、レモン、オリーブ等のブランド化推進等） 農水産品の販路拡大 農水産業を支える基盤の整備（漁場整備等） 									
目標									
項目	目標	単位	H27	H28	H29	H30	累計	達成率	
①新たな販路開拓数（累計）	H27～R元：230 (H30年度改定で200から230に変更)	件	113	52	34	36	235	102.2%	
②呉の特産として認知する市民が50%を超える農水産品数	H26：3 → R元：8	品	(R元調査予定)				—	—	
評価	現状								
○	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度は、呉産かきのPRと広カンランの栽培促進を実施し、呉産かきの取扱い飲食店が14件、広カンランの取扱い飲食店が15件、販売店が7件増加した。 平成28年度から3年間にわたり品目を絞り集中的に販路拡大の取組を実施してきたことにより、取扱店舗を増やすことができ、一定の事業効果が認められた。 								
令和元年度以降の方向性									
<ul style="list-style-type: none"> かきや広カンラン等について、生産者、関係団体（農協、漁協）、市などで構成する各協議会が主体となり、ブランド化及び販路拡大を引き続き推進する。 									

(イ) ものづくり技術の高度化促進

主な事業								
<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な企業誘致・留置活動の展開（企業立地の推進，本社機能の移転等促進，市内企業の設備投資促進等） ・新産業・新技術開発へのチャレンジ支援（産学官連携による新製品・新技術の開発支援，地域産業の活性化支援，医工連携の推進等） 								
目標								
項目	目標	単位	H27	H28	H29	H30	累計	達成率
①産業団地への新たな立地企業数（累計）	H27～R元：10 (令和元年度改定で10から18に変更)	社	2	7	4	2	15	150.0%
②新たな設備投資に伴う新規雇用従業員数（累計）	H27～R元：240	人	30	54	32	71	187	77.9%
③新製品・新技術開発支援件数（累計）	H27～R元：80 (平成29年度改定で20から80に変更)	件	18	18	21	9	66	82.5%
評価	現状							
○	<ul style="list-style-type: none"> ・産業団地への立地企業数は順調に増加し，苗代工業団地は完売となり，既に目標値を達成している。 ・苗代工業団地及び阿賀マリノポリス地区に立地した企業の新工場稼働に伴い，従業員数が増加した。 							
令和元年度以降の方向性								
<ul style="list-style-type: none"> ・阿賀マリノポリス地区については，今年度中の売却公募を予定するとともに，内陸部に新産業団地の造成を検討する。 ・新製品・新技術開発支援については，事業者とくれ産業振興センターのコーディネーターが連携し，商品価値があり，販売力のあるビジネスプランを構築するとともに，新製品等の開発につながる支援を継続する。 								

(ウ) サービス産業の魅力向上

主な事業									
<ul style="list-style-type: none"> 都市ブランド力の向上（呉市中心部回遊性向上機能の整備（青山クラブの活用等），呉駅周辺地域総合開発の推進，日本遺産を活用した呉の魅力発信事業，観光プロモーションの展開等） 魅力ある観光・商業環境の創出（商業施設等の活性化支援，周遊・滞在型観光の推進，観光資源のブラッシュアップ，インバウンドの推進，新たな観光推進体制の構築，大和ミュージアム・入船山記念館の魅力向上，呉港へのクルーズ客船誘致等） 									
目標									
項目	目標	単位	H27	H28	H29	H30	累計	達成率	
①新規出店件数・島しょ部における新サービス実施件数（累計） （ ）内は島しょ部における新サービス実施件数(内数)	H27～R元：80 (令和元年度改定で80から83に変更)	件	28 (6)	27 (3)	18	7	80	100.0%	
②年間入込観光客数	H26：308 → R元：340	万人	336	336	332	R元.7 公表予定	—	—	
③1人当たり観光消費額	H26：6,061 → R元：6,370	円	6,087	6,162	6,079	R元.7 公表予定	—	—	
評価	現状								
○	<ul style="list-style-type: none"> より魅力的な店舗を選定するため，平成29年度から奨励金の交付事業者数を絞り込むとともに，経営指導を受けた事業者に加点するなどし，選定事業者が事業継続できる相談体制を強化している。 平成30年の年間入込観光客数は，平成30年7月豪雨災害の影響のため，減少すると考えられる。 								
令和元年度以降の方向性									
<ul style="list-style-type: none"> 中心部の回遊性を向上させるため，「この世界の片隅に」を活用したロケツアーリズムの推進や魅力的な小売店等の出店支援等を行うとともに，青山クラブ等の保存・活用を検討する。 今年度は災害復興をテーマに観光キャンペーンを展開し，地域の特色を活かしたイベントをリレー形式で行うなど，観光客の呼び戻しを図る。 主要観光施設である大和ミュージアムのリニューアル，呉港へのクルーズ客船の誘致を検討し，観光客の増加を図る。 									

(エ) 多様な事業者との連携による商品化等の推進

主な事業									
・ 特色ある地域資源を活かした新たなプロジェクトの推進（呉市産酒米の増産推進，【再掲】農水産品のブランド化推進等）									
目標									
項目	目標	単位	H27	H28	H29	H30	累計	達成率	
①多様な事業者との連携による商品化等の品目数（累計）	H27～R元：5	件	0	0	2	0	2	40.0%	
評価	現状								
△	<ul style="list-style-type: none"> ・ 酒米，広カンラン，オリーブ，レモン，かきの5品目について，多様な事業者との連携による商品化等を目指しており，平成29年度までに呉市産酒米の増産を行い，活用する酒造メーカーを2蔵から3蔵へ増やすとともに，広カンランの規格外品を使った加工品の商品化（2社）を行った。 ・ 平成30年度は，呉市の特産品であるかきをボイルし乾燥させた加工品を開発し，試験販売を行った。 								
令和元年度以降の方向性									
・ オリーブ，レモン，かきについて，生産者と加工業者や販売業者と連携し取組を推進する。									

イ 人材の発掘・育成

(ア) 新規農業・漁業就業者の支援

主な事業									
・ 新規農業・漁業就業者支援（新規就業者の着業・定着支援，シルバー漁師の育成等）									
目標									
項目	目標	単位	H27	H28	H29	H30	累計	達成率	
新規農業・漁業就業者数（累計）	H27～R元：30	人	4	6	5	1	16	53.3%	
評価	現状								
△	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規農業就業者は，農地の確保ができない，また，技術習得に一定期間を要するなど，短期間での安定した収入の確保が難しいため，希望者が少ない現状がある。 ・ 新規漁業就業者は，平成29年度に達成率が5割を超え順調に伸びていたが，漁獲量の減少により平成30年度は新規就業者がゼロだった。 								
令和元年度以降の方向性									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規農業就業者支援については，農業次世代人材投資資金及び新規就農者総合支援事業の周知徹底を図り，各関係機関との連携を強化することで，新規就業者の増加を図る。 ・ 個人・企業・大学等に対し，生産性向上による収入増が見込まれるスマート農業（AI，ドローン等）に関して，ひろしまサンドボックス※を活用した豊町大長での実証実験等の情報を提供し，農業への新規参入を促す。 ・ 新規漁業就業者支援については，現行の研修制度や奨励金の交付制度などを継続することで，新規就業者の増加を図る。 									

※ ひろしまサンドボックス：平成30年度から広島県が実施している事業で、AIやIoTなどの最新技術の活用による新たな付加価値の創出や生産性の効率化に取り組めるよう、県内の企業・大学・自治体等が様々な実証実験を行うことのできる場所

(イ) ものづくり人材の育成

主な事業									
<ul style="list-style-type: none"> ・創業へのチャレンジ支援・雇用拡大（創業支援の充実，起業家支援事業，地域雇用の創造支援（雇用拡大セミナー等），呉の産業マイスターの表彰等） ・中小企業人材育成事業 									
目標									
項目	目標	単位	H27	H28	H29	H30	累計	達成率	
①創業支援事業計画・実践型地域雇用創造事業に基づく新規雇用者数・創業者数（累計）	H27～R元：735 (令和元年度改定で735から855に変更)	人	281	242	282	R元.7 公表予定	805	109.5%	
評価	現状								
◎	<ul style="list-style-type: none"> ・企業向けのセミナーについて，平成30年度から企業のニーズをヒアリングし，地域や時代に即したメニューに変更した。 ・各セミナー等への参加や雇用情勢の改善等から，新規雇用者数が増加している。 								
令和元年度以降の方向性									
<ul style="list-style-type: none"> ・今後もクラウドファンディング型ふるさと納税を活用した起業家支援や女性向けの創業支援を行うなど，若者や女性の起業へのチャレンジを支援する。 ・企業向けのセミナー等を継続して実施し，新規雇用につなげる。 									

(ウ) サービス産業人材の育成

主な事業									
<ul style="list-style-type: none"> 多様な人材の活用（奨学金制度による福祉人材（介護・保育）の確保・養成の推進，医療人材（看護）確保・養成奨学金の創設の検討，福祉人材の育成，障害者就労支援体制の充実等） 【再掲】創業へのチャレンジ支援・雇用拡大 リノベーションまちづくり事業 									
目標									
項目	目標	単位	H27	H28	H29	H30	累計	達成率	
①福祉医療人材（介護・看護・保育）確保・養成奨学金制度の創設					H29制度創設（介護・保育）		—	—	
評価	現状と今後の方向性								
△	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度に福祉人材（介護・保育）の確保のために施設が行う奨学金に対する補助制度を創設した。 社会福祉施設に対して同制度の説明会を実施し，3施設が奨学金制度を創設した。現在，1施設において4人に奨学金を貸し付けている。 								
令和元年度以降の方向性									
<ul style="list-style-type: none"> 看護の奨学金制度について，地域ニーズや既存の奨学金制度の調査・研究を行い今後の方向性を検討するとともに，介護・保育の奨学金補助制度等については，社会福祉施設及び大学へ周知を図る。 様々な業種で起業しようとする人に対して，呉市，くれ産業振興センター，商工会議所，金融機関等の相談窓口の開設，融資，広島大学呉サテライトでの起業支援，更には空き店舗等を活用した「リノベーションまちづくり事業」などを行うことで，産業を支える人材の確保・育成に取り組む。 									

ウ 情報発信の強化

(ア) 呉らしさの発信

主な事業									
・シティプロモーションの推進（総合的なシティプロモーションの展開，呉の産業PR事業の推進，定住・移住情報の発信等）									
目標									
項目	目標	単位	H27	H28	H29	H30	累計	達成率	
①呉市内に就職した地元高校生の割合	H26：60 → R元：65	%	55	53	61	R元.6 公表予定	—	—	
評価	現状								
—	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年3月卒業予定者に対する市内企業の求人が増えたことにより，平成30年3月卒業の地元高校生の呉市内就職の割合は増加している。 キャラクター「呉氏」によるシティプロモーションにより，関連動画再生回数は累計93万回，キャラクターグッズは25社から102種類（平成31年4月2日時点）が発売され，呉市の魅力発信につながっている。 								
令和元年度以降の方向性									
<ul style="list-style-type: none"> 地元就職につなげるため，高校生及び大学生に呉の産業のPRや企業ガイダンス等を実施する。 元気な呉市を発信し，呉市へ来てもらい，移住してもらえよう，シティプロモーションを実施する。 									

【基本目標2】 育てやすさの向上(ひとづくり)

(1) 子育て・子育てしやすい環境づくりの方向性

目標									
指標	目標	単位	H27	H28	H29	H30	累計	達成率	
年間出生者数	H25 : 1,717 → R元 : 1,800	人	1,588	1,506	1,406	R2.1 公表予定	—	—	
評価	現状								
—	・年間出生者数は、若年女性の減少や未婚化・晩婚化の影響により毎年減少している。								
令和元年度以降の方向性									
・若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるため、結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援をするとともに、子育て環境や教育環境の充実に向けた取組を進める。									

(2) 具体的方策

ア 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援

(ア) 結婚の応援

主な事業									
・結婚支援の推進（結婚支援（婚活事業の助成等））									
目標									
項目	目標	単位	H27	H28	H29	H30	累計	達成率	
①結婚支援事業参加者のカップル成立数 (累計)	H27～R元 : 97 (平成30年度改定で63から97に変更) (令和元年度改定で97から111に変更)	組	14	22	29	34	99	102.1%	
評価	現状								
◎	・平成28年度から民間事業者・団体等が主体となる取組を支援することで、若者のニーズにあったセミナーの実施や参加者へのきめ細やかなフォローが可能となり、目標値を達成した。								
令和元年度以降の方向性									
・結婚支援を行う民間事業者の増加を図り、民間主導の取組へとつなげていく。									

(イ) 妊娠・出産サポートの充実

主な事業									
・妊娠・出産サポートの充実（妊産婦の健康診査・保健指導等の充実（歯科健康診査，風しん予防接種助成等），不妊治療医療費の助成等）									
目標									
項目	目標	単位	H27	H28	H29	H30	累計	達成率	
①妊婦に対する子育て支援プランの作成・保健指導実施率（H28から実施）	R元：100	%	/	100	100	100	—	—	
評価	現状								
—	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代包括支援センター「えがお」において，全ての妊婦に妊娠・出産に向けた支援情報を提供し，妊娠中の生活などについて保健指導を実施しており，妊娠時からサポートするきっかけづくりができています。 平成30年度からは，産婦健診など産後の支援も充実させた。 								
令和元年度以降の方向性									
・母子健康手帳交付時に母子保健コーディネーターや保健師との面接において，個々の妊産婦のニーズを把握し，妊娠・出産・産後・子育て期間における必要な支援プラン（子育てマイプラン）の提案を行い，相談や支援を継続することで，妊娠から子育てまでを切れ目なく包括的にサポートする。									

(ウ) 子どもの健やかな育ちの応援

主な事業									
・乳幼児の健康づくり支援や集いの場の充実（乳幼児の健康診査，遊育空間の整備（低年齢児用遊具の設置），地域子育て支援拠点の充実，子どもの居場所づくり），男性の子育て参加の促進，子育て支援アプリの導入									
目標									
項目	目標	単位	H27	H28	H29	H30	累計	達成率	
①地域子育て支援拠点数（累計）	H26：9 → R元：12	箇所	0 (9)	1 (10)	0 (10)	0 (10)	1 (10)	33.3%	
評価	現状								
△	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児と保護者の集いの場を充実させるため，ニーズ調査を基に地域的なバランスを考慮しながら，地域子育て支援拠点施設を増加させるため，事業者に働き掛けを行っているが，人材確保などが難しく支援拠点施設の増設につなげていない。 								
令和元年度以降の方向性									
<ul style="list-style-type: none"> 認定こども園へ移行予定の教育・保育施設等へ事業実施について働き掛けを行い，地域子育て支援拠点施設の実施施設を増加させる。 まちづくり委員会やNPO法人等の多様な主体が，積極的に「子ども食堂」などの新たな居場所づくりに取り組めるよう支援していく。 									

(エ) 子育て世代包括支援センターの整備

主な事業								
・ 子育て世代包括支援センターによる妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援（総合相談，関係団体との連絡調整等）								
目標								
項目	目標	単位	H27	H28	H29	H30	累計	達成率
①子育て中にストレスを感じる親の割合	H25：87.4 → R元：82	%	(R元調査予定)				—	—
②子育て世代包括支援センターにおける相談件数（H28から実施）（累計）	H28～R元：1,800 (平成30年度改定で800から1,800に変更)	件		230	550	531	1,311	72.8%
評価	現状							
△	・ 平成28年10月に開設した子育て世代包括支援センター「えがお」で，相談業務，子育てマイプランの提案，産前・産後サポート事業，産後ケア事業を実施している。また，平成30年10月1日から産婦健康診査に係る費用の助成を開始した。							
令和元年度以降の方向性								
・ 母子健康手帳交付時に母子保健コーディネーターや保健師との面接において，個々の妊産婦のニーズを把握し，妊娠・出産・産後・子育て期間における必要な支援プラン（子育てマイプラン）の提案を行い，相談や支援を継続することで，妊娠から子育てまでを切れ目なく包括的にサポートする。								

イ 子育て支援

(ア) 子育て家庭の応援

主な事業									
<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー・サポート・センターの充実（24時間サポート体制の推進等） ・保育サービスの充実（病児・病後児保育，認可保育施設等への支援の充実等） ・放課後児童会の充実（開設時間の延長，民間放課後児童会の充実等） ・乳幼児等医療費助成の充実（通院：就学前まで→小学6年生まで，入院：小学6年生まで→中学3年生まで） 									
目標									
項目	目標	単位	H27	H28	H29	H30	累計	達成率	
①ファミリー・サポート・センター利用件数	H26：2,107 → R元：2,300	件	2,032	2,257	1,958	1,773	—	—	
②病児・病後児保育実施施設数（累計）	H26：2 → R元：4	箇所	0 (2)	0 (2)	0 (2)	0 (2)	0 (2)	0%	
評価	現状								
△	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー・サポート・センターの利用件数は，出生数の減少や，他の保育サービスの向上などにより利用が減少する中でも，例年2,000件前後で推移していたが，平成30年度は7月豪雨の影響等により，利用件数が大幅に減少した。 ・病児・病後児保育の実施施設については，医師会，医療機関，教育・保育施設等と実施場所等について協議を行っているが，保育人材や保育スペースの確保が難しく増設に至っていない。 								
令和元年度以降の方向性									
<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー・サポート・センターは，いざというときのために登録しているケースが多い。今後は，呉市すこやか子育て支援センター（くれくれ・ば等）でのお試し利用を積極的に勧めて，必要ときに実家の代替機能として利用しやすい環境づくりに努める。 ・病児・病後児保育施設の増設について，地域的なバランスを考慮しながら人材の確保を含め増設に向けて関係団体と協議を進める。 ・今年度から放課後児童会の開設時間延長を始めた。今後も子育て世代へのニーズ調査を基に，ニーズに合った事業を展開する。 									

ウ 教育環境の充実

(ア) 小中学校教育の充実

主な事業									
<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育の更なる推進，豊かな感性と郷土を愛する心を育む教育活動の推進（ふるさと子ども夢実現事業，「ものづくり」体験事業の推進等） ・教育環境の充実（小中学校普通教室への空調設備の設置等） ・夢へのチャレンジ応援事業（全国規模の大会等において優れた成績を収めた生徒への報奨金交付等） 									
目標									
項目	目標	単位	H27	H28	H29	H30	累計	達成率	
①将来の夢や目標をもっている児童・生徒の割合	小学生 H26：92.9 → R元：95 中学生 H26：78.4 → R元：80	%	小学生 93.4 中学生 78.8	小学生 91.6 中学生 76.1	小学生 93.4 中学生 78.6	小学生 93.7 中学生 78.8	—	—	
②呉市（公共）への貢献意欲がある中学生の割合	H26：37 → R元：75	%	42.7	66.7	64	51.9	—	—	
③小中学校普通教室への空調設備設置率	H26：0.4 → R元：100	%	— (H29以降設置)		小学校 0.6 中学校 100	小学校 100 中学校 100	小学校 100 中学校 100	100%	
評価	現状								
○	<ul style="list-style-type: none"> ・「将来の夢や目標をもっている児童・生徒の割合」について，小学生は前年を上回った。また，中学生は前年を上回ったが，平成27年度と同数値であった。※県内平均値（小学生：91.5%，中学生：76.7%） ・小中学校普通教室への空調設備の設置が完了した。 								
令和元年度以降の方向性									
<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育の取組を基盤とし，自ら課題を発見して解決する授業づくりを行うなど「主体的・対話的で深い学び」を通して，新しい時代に求められる資質・能力を育成する教育活動を展開する。 ・「オーケストラ鑑賞教室～くれリンクアップコンサート～」などの文化・芸術体験活動や職場体験など，地域や社会との関わりのある学習活動を充実させ，児童生徒の豊かな感性や郷土を愛する心を育成する。 									

(イ) 高等学校教育の充実

主な事業								
<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校教育の充実（呉高等学校施設の耐震化（完了）・空調設備の設置等（完了）・教育備品のICT化の推進） ・【再掲】夢へのチャレンジ応援事業（全国規模の大会等において優れた成績を収めた生徒への報奨金交付等） 								
目標								
項目	目標	単位	H27	H28	H29	H30	累計	達成率
①呉高等学校を志望する動機となった目標を達成した生徒の割合	H26：83.2 → R元：90	%	87	94	92.1	90.2	—	—
評価	現状							
—	<ul style="list-style-type: none"> ・進路実現に向けた学力の向上や地域・社会に貢献する人材の育成の指導を充実させたことにより、多くの生徒が目標を達成していると考えられる。 							
令和元年度以降の方向性								
<ul style="list-style-type: none"> ・教育環境を充実させ、学習意欲や地域への愛着を高めることにより、生徒の目標達成を実現する。 								

【基本目標3】暮らしやすさの向上(まちづくり)

(1) 魅力的な住生活環境創出の方向性

目標								
指標	目標	単位	H27	H28	H29	H30	累計	達成率
呉市を住みよいと感じる市民の割合	H26 : 70% → R元 : 80%	%	(R元調査予定)				—	—
評価	現状							
—	<ul style="list-style-type: none"> ・呉市を住みよいと感じる市民の割合については、令和元年度に調査を実施するため、達成状況を把握できていないが、それぞれの具体化方策ごとの目標の評価は「◎」が二つ、「○」が一つ、「△」が一つとなっている。 							
令和元年度以降の方向性								
<ul style="list-style-type: none"> ・定住・移住の促進に向けて、定住サポートセンターにコンシェルジュを配置し、相談体制を充実させるとともに、移住者同士の交流ネットワークを構築するなど、移住後のサポート体制も充実させる。 ・狭あい道路整備事業を活用した市道拡幅により住生活環境の向上を図り、また同事業の助成制度を周知徹底し、事業者による宅地開発の促進につなげる。 ・健康寿命の延伸や災害に強い交通体系の再構築など、生活環境の充実を図る。 								

(2) 具体的方策

ア 総合的な定住サポート

(ア) 定住・移住サポート機能の強化

主な事業								
<ul style="list-style-type: none"> ・定住サポートセンターの充実 (【再掲】定住・移住情報の発信、民間事業者・関係機関との連携強化、定住・移住後のサポートの充実等) 								
目標								
項目	目標	単位	H27	H28	H29	H30	累計	達成率
①定住サポートセンター問合せ件数(累計)	H27～R元 : 1,000	件	173	354	268	171	966	96.6%
評価	現状							
◎	<ul style="list-style-type: none"> ・達成率は高いが昨年度は平成30年7月豪雨の影響により、空き家バンクの運用を一定期間停止したため、問合せ件数が減少した。 							
令和元年度以降の方向性								
<ul style="list-style-type: none"> ・移住・定住のPRを引き続き行い、定住サポートセンターへの問合せ件数の増加を図る。 								

イ 定住・移住促進

(ア) 定住・移住支援

主な事業									
<ul style="list-style-type: none"> ・新婚・子育て世帯の定住支援（中古住宅取得支援，親世帯との近居支援） ・移住希望者の住宅取得支援（中古住宅取得支援，新婚・子育て世帯支援，親世帯との近居支援，島しょ部移住支援等） 									
目標									
項目	目標	単位	H27	H28	H29	H30	累計	達成率	
①若年層の住宅取得件数（累計）	H28～R元：200	件		27	28	26	81	40.5%	
②移住希望者の住宅取得件数（累計）	H28～R元：80	件		22	15	19	56	70.0%	
評価	現状								
△	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層の住宅取得助成の申請件数は，当初見込みより少なく横ばい状態が続いている。移住者の住宅取得助成件数は平成30年7月豪雨の影響もなく，目標に近づいている。 								
令和元年度以降の方向性									
<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校・保育所・幼稚園などに支援策の広報を行い，制度の周知を図る。 ・若年層の定住，市外からの移住希望者の移住先として選ばれるために，引き続き支援策を実施し，U I J ターンの促進と増加する中古住宅の流通促進を図る。 									

(イ) 空き家の利活用促進

主な事業									
<ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンクの充実（空き家実態調査（完了），所有者意向調査（完了），空き家バンクへの登録促進） ・空き家の利活用支援（移住促進施設整備の支援（完了），空き家家財道具等処分支援，学生シェアハウス支援等，【再掲】新婚・子育て世帯の定住支援，【再掲】移住希望者の住宅取得支援） 									
目標									
項目	目標	単位	H27	H28	H29	H30	累計	達成率	
①空き家バンク登録物件の成約件数（累計）	H27～R元：100 (平成30年度改定で70から100に変更) (令和元年度改定で100から110に変更)	件	12	19	31	31	93	93.0%	
評価	現状								
◎	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンク登録物件数及び利用者登録数（買い手・借り手）ともに増加していることから，成約件数は順調に伸びている。 								
令和元年度以降の方向性									
<ul style="list-style-type: none"> ・島しょ部を中心に，空き家バンクの登録物件の掘起しを目的とした地元説明会を開催し，登録件数の増加を図る。 									

ウ 生活環境の充実

(ア) 健康寿命の延伸

主な事業								
<ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみの健康づくりの推進（地域総合チーム医療の推進，地域包括ケアシステムの推進，スポーツを通じた健康づくり等） ・呉市版生涯活躍のまち（CCRC）の検討 								
目標								
項目	目標	単位	H27	H28	H29	H30	累計	達成率
①平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加 （平均寿命－健康寿命）	（平均寿命－健康寿命） 男：1.09年(H25) 女：2.56年(H25)	年	男： 0.94 女： 2.34	男： 1.09 女： 2.55	男： 1.01 女： 2.43	R2.4 公表予定	—	—
評価	現状							
—	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度の呉市の健康寿命と平均寿命との差は，男性：1.01年，女性：2.43年となっている。平成25年度と比較すると男女とも健康寿命と平均寿命との差が縮小されている。 							
令和元年度以降の方向性								
<ul style="list-style-type: none"> ・市民が自分の健康状態を把握し，疾病の発症予防に活かすために健診の受診促進に取り組む。 ・特定健康診査の個人負担無料化や人間ドック助成等の継続等を行い，受診環境の拡充と受診率の向上を図ることにより，更なる健康寿命の延伸に取り組む。 ・健診・医療・介護データの活用により抽出された健康課題（糖尿病・脳卒中等）に対し，健康づくり事業を展開し，健康寿命の延伸に取り組む。 								

(イ) 地域生活拠点の機能充実

主な事業									
<ul style="list-style-type: none"> ・地域協働によるまちづくりの推進（ゆめづくり地域協働プログラムに基づく自主的で自立した地域活動の支援，地域おこし協力隊の活用，子どもまちづくり事業等） ・公共交通ネットワークの確保（公共交通の運行支援等） 									
目標									
項目	目標	単位	H27	H28	H29	H30	累計	達成率	
①まちづくり委員会等が取り組む新たな課題解決への取組件数（累計）	H27～R元：20	件	6	4	1	7	18	90.0%	
②公共交通に対する市民の満足度	H26：16.2 → R元：25	%	(R元調査予定)				—	—	
評価	現状								
○	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区の地域まちづくり計画は，策定からおおむね10年が経過しており，各地区において当該計画の改定作業を進めている。この改定作業の中で，事業の見直しを行っており，少しずつではあるが，新たな取組が実施されている。 								
令和元年度以降の方向性									
<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの地域が，将来にわたり「豊かで活力あふれるまち」となるよう，地域住民による自主的で自立した地域経営に積極的に取り組むことができるよう支援していく。 ・公共交通の維持・確保に向けて，現状を広く市民へ周知し，運行形態の見直し等の取組みを進める。 ・広島呉道路の4車線化や，休山新道と東広島・呉自動車道間のアクセス向上及び先小倉交差点の事故の減少を図るため，引き続き，阿賀インターチェンジ立体化の整備を促進するとともに，施設強靱化に向け早期の4車線化に取り組む。 									

5 現行総合戦略の延長

現行総合戦略の計画期間を1年延長し，次期長期総合計画と一体的に策定します。
 また，令和2年度の改定において，計画期間の1年延長に伴う重要業績評価指標（KPI）の修正を行います。

